

平成 26 年度 京都大学防災研究所特定研究集会
平成 26 年度 第 3 回水資源セミナー



「生態系を考慮した総合流域管理 とリスクマネジメント」

日時：2014 年 12 月 1 日（月） 13:00～17:30
場所：京都大学宇治おうばくプラザ セミナー室 1, 2
主催：京都大学防災研究所水資源環境研究センター



趣旨：当センターでは、2013 年 12 月にユネスコ国際水文計画の一環として「気候変動下の河川流域管理のための生態水文学」に関する研修コースを実施した。これを受け本研究集会では、最新の気候変動予測研究成果を踏まえ、分布型水文モデルや陸面過程モデルを用いて将来気候下における河川流況、河川水温および流砂量の変化が河川生態系や貯水池環境に及ぼす影響を評価すると共に、ダム放流操作や河川地形管理による適応策の可能性について議論する。

【プログラム】

司会：堀智晴（京都大学防災研究所）

13:00 開会の辞、趣旨説明：田中賢治（京都大学防災研究所）

13:10 気候変動が日本各地の河川流況に与える影響：田中賢治（京都大学防災研究所）

13:35 気候変動が河川流量および河川水温に与える影響：佐藤嘉展（愛媛大学農学部）

14:00 水温上昇にともなうアユの個体群動態の変化予測：井口恵一郎（長崎大学環境科学部）

14:25 降水現象の極端化に伴う流況変化等が河川生態系に与える影響に関する研究：
傳田正利（土木研究所）

14:50 休憩（コーヒーブレイク）

司会：田中賢治（京都大学防災研究所）

15:20 温暖化にともなう貯水池環境の変化と生物環境の変化に関して
－特定外来生物カワヒバリガイの挙動・分布－：小林卓也（電力中央研究所）

15:45 生態系を考慮した総合流域管理の課題：竹門康弘（京都大学防災研究所）

16:10 ダム貯水池運用を考慮した適応策の可能性：角哲也（京都大学防災研究所）

16:40 パネルディスカッション「総合流域管理の方向性」

17:20 閉会の辞 堀智晴（京都大学防災研究所）

（注）発表タイトルはいずれも仮題です。